

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 市民青少年交流事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 中学高校教員交流（招へい）
- (2) 中学高校教員交流（派遣）
- (3) 市民青少年交流（指導者交流）（派遣）
- (4) 市民青少年交流（指導者交流）（招へい）
- (5) アジア青年文化奨学金（中等教育プログラム）（AC）
- (6) 開高健記念アジア作家招へい（AC）
- (7) 文化交流企画運営補助（JFボランティア）

### 2. 催し等事業費

- (1) 市民青少年交流（主催）
- (2) 市民青少年交流（主催）（中東）
- (3) 市民青少年交流（助成）
- (4) 市民青少年交流（助成）（AC）
- (5) 市民青少年交流（助成）（中東）
- (6) 異文化理解ワークショップ（中東）
- (7) 異文化理解ワークショップ（AC）
- (8) 異文化理解ワークショップ

## 市民青少年交流事業費

### 1. 人物交流事業費 (1) 中学高校教員交流 (招へい)

諸外国の中学校・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わっている者をグループで招へいし、研修・視察の機会を提供する。

合計額 143,889,202円

	事業名	対象国	参加人数	期間	事業内容				
1	中高教員グループ (第1)	アフガニスタン	2	06.06.22～ 06.07.05	各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に対する理解を深め、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供				
		アラブ首長国連邦	3						
		イラク	3						
		イラン	3						
		インドネシア	3						
		エジプト	3						
		カナダ	3						
		コンゴ民主共和国	3						
		ジンバブエ	3						
		スイス	3						
		トルコ	3						
		ネパール	4						
		ノルウェー	4						
		パキスタン	5						
		マレーシア	5						
		2	中高教員グループ (第2)			ウクライナ	1	06.09.07～ 06.09.20	各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に対する理解を深め、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供
						クロアチア	1		
コートジボワール	2								
コロンビア	3								
ザンビア	3								
ジャマイカ	3								
スロバキア	3								
セネガル	3								
セルビア	3								
タンザニア	3								
チェコ	3								
チリ	3								
ドミニカ共和国	3								
トリニダード・トバゴ共和国	3								
ニカラグア	3								
パラグアイ	3								
ブラジル	3								
ベラルーシ	3								
メキシコ	5								
モンテネグロ	5								
ロシア	5								

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	参加人数	期間	事業内容
3	中高教員グループ(第3)	イタリア インド オーストラリア スウェーデン スペイン タイ チュニジア デンマーク ドイツ バヌアツ パプアニューギニア ハンガリー フィリピン フランス ブルガリア ベトナム モロッコ 英国	3 3 3 3 3 3 3 3 3 5 5 5 5 5 5 5 5	06.11.02～ 06.11.15	各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に対する理解を深め、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員(主として社会科、国際理解教育)等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供
4	中高教員グループ(韓国)	韓国	25	06.09.28～ 06.10.11	韓国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に対する理解を深め、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、韓国の中等教育に携わる教員(主として社会科、国際理解教育)等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供

1. 人物交流事業費 (2) 中学高校教員交流(派遣)

諸外国の中学校・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わっている者をグループで派遣する。

合計額 726,960円

	事業名	対象国	参加人数	期間	事業内容
1	韓日教育者交流事前研修	韓国	24	06.10.24～ 06.11.07	韓国国際交流財団との相互交流プログラムの一環として、日本の中学・高校の社会科教員の韓国研修の渡航前オリエンテーションを実施

## 市民青少年交流事業費

### 1. 人物交流事業費 (3)市民青少年交流（指導者交流）（派遣）

市民青少年交流分野で指導的立場にある内外の専門家を少人数のグループで派遣し、調査・視察・意見交換などにより関係者間のネットワーク形成と、同分野の新たな交流を促進する。

合計額 8,513,471円

	事業名	対象国	人物	現職	期間	事業内容
1	環境教育関係者中南米派遣	コスタリカ メキシコ	朝岡幸彦 大島順子 小栗有子 久高将和 小松幸子 浜本奈鼓 三好直子	東京農工大学 准教授 琉球大学法文 学部観光学科 准教授 鹿児島大学生 涯学習教育研 究センター 准教授 特定非営利活 動法人 国頭 ツーリズム協 会 顧問 特定非営利活 動法人 グラ ウンドワーク 三島 理事 特定非営利活 動法人 くす の木自然館 専務理事 社団法人ネイ チャーゲーム 協会 職員	07.03.27～ 07.04.07	日本と中南米諸国との市民交流を促進するため、持続可能な開発のための環境教育（ESD）に携わる日本の市民団体に指導的立場にある人物や専門家を、メキシコ、コスタリカへ派遣し、各国で同分野に係わる市民団体関係者や専門家との情報・意見交換を実施

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 (4)市民青少年交流(指導者交流)(招へい)

市民青少年交流分野で指導的立場にある内外の専門家を少人数のグループで招へいし、調査・視察・意見交換などにより関係者間のネットワーク形成と、同分野の新たな交流を促進する。

合計額 6,845,906円

事業名	対象国	人物	現職	期間	事業内容
1 豪州多文化共生・異文化理解グループ招へい	オーストラリア	Stepan Kerkyasharian  Richard Acheson  Violet Roumeliotis  Jihad Dib	ニューサウスウエールズ州多文化地域社会関係委員会委員長 ニューサウスウエールズ州多文化地域社会関係委員会多文化関係サービス部長 カンタベリー・バンクスタウン移住者資料センター・マネージャー パンチボウル男子高等学校副校長	07.01.18～ 07.01.30	新たな市民青少年交流事業の発展に資することを主たる目的として、多文化共生・異文化理解事業分野で指導的立場にあるオーストラリアの専門家(若手・中堅の指導者・担い手を優先)を複合分野の構成により招へいし、日本側の同様な分野に係わる専門家(指導者・担い手)との情報・意見公開の機会を提供。また、オーストラリアにおける多文化共生・異文化理解事業等の実績を紹介するためのフォーラムを東京で、関係者との意見交換会を仙台で、シンポジウムを名古屋で実施

1. 人物交流事業費 (5)アジア青年文化奨学金(中等教育プログラム)(AC)

アジア域内の将来を担う人材育成を促進するため、アジア各国と日本の高校生の交換留学事業を行なう。

合計額 111,200円

事業名	対象国	参加人数	期間	事業内容
1 アジア青年文化奨学金〔中等教育プログラム〕	インドネシア	2	06.04.01～ 06.07.31	アジア各国の青少年同士の相互理解のため、日本人高校生2名を第9期生として、平成17年8月、インドネシアに派遣。平成18年度は派遣残存期間となる4月から7月帰国までの4カ月を引き続き派遣。留学生はインドネシアの一般家庭にホームステイしつつ高校に通学

## 市民青少年交流事業費

### 1. 人物交流事業費 (6)開高健記念アジア作家招へい (AC)

日本では紹介されることの少ないアジアの文学を一般市民へ紹介するとともに、文学関係者間の交流を促進するため、アジアから作家を招へいし、日本各地で講演会などを実施する。

合計額 4,819,121円

	事業名	対象国	場所名	関連機関名称	都市	期間	事業内容
1	第16回「丁雲（ディン・ユン）」	シンガポール	国際交流基金国際会議場 仙台文学館  大阪国際交流センター会議室 函館市中央図書館	財団法人 仙台市市民文化事業団 財団法人 大阪国際交流センター 財団法人 北海道国際交流センター	東京  仙台市  大阪市  函館市	06.10.25～ 06.11.07	作家の故開高健氏の遺族からの寄付金により、シンガポールの作家・丁雲（ディン・ユン）氏を招へいし日本国内4ヵ所にて講演会を実施。東京大学の藤井省三教授や作家の佐伯一麦氏との対談も実施
2	第17回「李鋭（リ・ルエイ）」	中国				06.04.01～ 07.03.31	作家の故開高健氏の遺族からの寄付金により、19年度に中国の作家を招へいし日本国内にて講演会を実施する準備作業

### 1. 人物交流事業費 (7)文化交流企画運営補助 (JFボランティア)

日本との文化交流活動を主たる業務としている海外の非営利団体へ市民ボランティアを派遣し、企画運営補助業務を行なう。

合計額 7,827,240円

	人物	対象国	受入機関	期間
1	山崎夕佳	エジプト	エジプト日本語教育振興会	05.05.10～ 06.05.09
2	兼崎妙	マレーシア	マレーシア日本語協会	05.05.17～ 06.05.16
3	河嶋佳子	ドイツ	ベルリン日独センター	06.09.01～ 07.08.31
4	塩沢祥子	エジプト	エジプト日本語教育振興会	06.11.09～ 07.11.08
5	尾上智子	フィリピン	フィリピン日系人互助財団付属研修センター	07.02.02～ 08.03.04

## 2. 催し等事業費 (1)市民青少年交流 (主催)

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と国際交流を促進するため、市民青少年交流活動を幅広く展開する団体の関係者や、指導的立場にある専門家を日本から派遣または招へいし、視察・意見交換に加えシンポジウムや講演会などの機会を提供する。

合計額 3,278,656円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	韓国青少年教育グループ (招へい)	韓国	07.03.13～ 07.03.21	韓国で青少年問題 (就労支援) に携わる市民団体の実務家をグループで招へいし、日本の状況への理解を深めるため、日本の同分野の団体を訪問し、関係者と意見交換を実施

## 2. 催し等事業費 (2)市民青少年交流 (主催) (中東)

中東地域を対象として、文化分野における市民・青少年レベルでの国際交流を促進し、相互理解を深めるため、市民青少年交流活動を幅広く展開する団体の関係者や、指導的立場にある専門家をグループで派遣または招へいし、意見交換、セミナー、シンポジウム、ワークショップなどを実施する。

合計額 3,585,233円

	事業名	対象国名	期間	事業内容
1	中東青少年交流グループ派遣	アラブ首長国連邦 エジプト シリア	07.02.26～ 07.03.06	青少年交流や育成をおこなっている指導者及び担い手をグループで中東に派遣し、意見交換を実施

## 2. 催し等事業費 (3)市民青少年交流 (助成)

日本と海外の市民レベルにおける相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 18,731,065円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	第5回北九州・オーストラリア子どもふれあいキャンプ	オーストラリア	北九州日豪協会	06.07.27～ 06.07.31	北九州市域の小中学生約100名を対象に、オーストラリアにおいて、草の根レベルでの青少年交流事業や福祉施設見学、ファームでの体験学習を実施し、雄大な自然の中での異文化交流を通じた青少年の国際感覚醸成と国際理解促進を図る事業
2	「シドニー日本伝統文化祭2006」	オーストラリア	日本生活文化交流協会 (JLC)	06.09.20～ 06.09.27	シドニー大学等で日本の伝統文化、生活文化を紹介 (津軽三味線、香道、茶道、書道、きもの、折り紙等の展示・実演)。実際の体験から交流を進め、日本人の素顔を伝える。訪問先の歴史と文化も学ぶ事業

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
3	子ども中心の教育に関する調査と交流	オーストラリア	特定非営利活動法人 東京シュール	06.07.10～ 06.07.16	日本のフリースクール生がオーストラリアの市民社会、子ども中心の教育を軸に世界のオルタナティブ教育の実践状況、公的支援状況を視察および意見交換を実施。また日本の教育、文化、フリースクールの状況を伝えるワークショップを開催
4	札幌・ジュニア・ジャズスクールによる豪州演奏会及び両国青少年国際文化交流事業	オーストラリア	財団法人 札幌市芸術文化財団	06.08.24～ 06.08.29	札幌・ジュニア・ジャズスクール第7期生中学生クラス20名が、2006日豪交流年プログラムにおいて実施されるジャパンフェスティバルにおいて演奏を実施。また、現地の同世代の学生等との交流として現地学校を訪問しての演奏会及び両国文化等についての意見交換会を実施
5	インターナショナルリーダーシップアカデミー	米国	財団法人 長岡市国際交流協会	06.07.15～ 06.07.31	姉妹都市であるテキサス州フォートワース市が世界8カ国から高校生を集めて毎年開催している国際交流プログラムへ、長岡市より高校生22名及び引率者3名を2週間派遣。特定のテーマに関しリサーチを実施するほか、ホームステイ、市議会・施設訪問、文化紹介等を実施
6	アントレプレナー教育発展を目指す国際交流事業	フィンランド 英国	特定非営利活動法人 アントレプレナーシップ開発センター	06.04.01～ 06.08.31	アントレプレナー教育で先進的事例を持つフィンランドと英国との連携事業実施に向けて、現地機関を訪問し、2007年度実施事業の具体的な概要と今後の展望について議論し決定
7	ウィーン音楽学校教授の学生向け講習交流会	オーストリア	メトロ国際交流協会・日唄音楽交流会	06.07.21～ 06.07.31	ウィーンの音楽学校教授5名が栃木県内各地で開催される音楽講習会にてオーケストラ・吹奏楽・専門分野の個人レッスンをを行い、青少年音楽育成ならびに指導者との意見交換を実施。日本にて本場音楽の都の芸術指導を多くの学生が体験し、レッスンの成果を各地のホールにて発表
8	ブルガリア・カザンラク市における第九回現代アート国際展	ブルガリア	特定非営利活動法人 福山ブルガリア協会	06.06.02～ 06.06.08	福山ブルガリア協会とグローバル・カルチャー・センターが協働してブルガリア・カザンラク市で開催する日本のアーティストと世界各国のアーティストが集う国際アート展
9	2006アジア太平洋ユースフェスティバル	全世界区分困難	財団法人 日本ユースホステル協会	06.10.12～ 06.10.18	20世紀に欧州で発展したユースホステル運動が21世紀アジアで盛んになったことを受け、世界各国の青年30名を招へい、日本の青年10名と「平和と国際理解のためのユースホステル」フォーラム（東京）、自然・環境問題実地研修（長野）を実施
10	「地域の宝」をテーマとした国際青少年交流	全世界区分困難	特定非営利活動法人 ECOPLUS	07.02.08～ 07.02.16	韓国、米国、イスラエル、パレスチナ、ケニアの小中学生と指導者を招へいし、日本の小中学生と「地域の宝探し」共同プロジェクトを行うことで、異なる文化・伝統・価値にふれあい、自身の地域への認識を深める事業



	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
11	平和で持続可能なまちづくりの日欧市民交流	ボスニア・ヘルツェゴビナ	特定非営利活動法人 NPO birth	06.08.20～ 06.08.28	畑や広場などの活用により町の再生を進める「緑のまちづくり活動」を行なう日本とボスニア・ヘルツェゴビナのNPOスタッフが、互いの交流を通して、平和で持続可能な社会づくりの方策について話し合うワークショップを開催。
12	日豪交流年ウィロビー市親善訪問	オーストラリア	NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会	06.09.07～ 06.09.11	2005年5月、杉並区との友好提携15周年記念式典に来日したウィロビー市長からの直接の要請により、日豪交流年となる2006年9月の現地スプリングフェスティバルにおいて、杉並区民による東京高円寺阿波おどり披露及び日本の伝統文化紹介とワークショップ等を行い、ウィロビー市民・杉並区民の相互理解・市民間交流を促進する事業
13	KIAアカデミー in Australia	オーストラリア	小松市国際交流協会	07.03.24～ 07.04.02	小松市内の小中学生をオーストラリア・ロックハンプトン市に派遣し、授業やホームステイ体験・地元学生との交流を通じて、生活や文化の違いを実際に肌で感じ、青少年の真の国際理解の芽を育成する。同時に、長年にわたり同市で教育実習生を受け入れているセントラルクイーンズ大学の学生と交流を行う事業
14	日豪交流年 記念イベント「日本のまつり」	オーストラリア	阿波おどり振興協会	06.10.11～ 06.10.16	2006「日豪交流年」のイベントとして「日本のまつり」が開催され、同まつりに阿波おどりが出演。阿波おどり振興協会の選抜連30名が、埼玉県越谷市の選抜連80名とともにおどりを披露。その他、関係機関を訪問し、交流事業を実施
15	青少年のサケ学習国際交流事業	カナダ	北海道サーモン協会	07.03.24～ 07.03.31	サケを介して環境保全の大切さを学習する国際交流派遣事業。今回は札幌市の小学生（教員他随行）がカナダB.C州#83学校区（教員委員会主管）を訪問し、現地の児童と共に環境センターなどでの野外カリキュラムやホームステイを体験し交流を深める事業
16	ニューヨーク・シティークラウンズ ワークショップ	米国	特定非営利活動法人いちかわ市民文化ネットワーク	06.12.08～ 06.12.17	ニューヨークで活動するクラウン・パフォーマー（専門家）を招いて、市民対象のクラウン芸のワークショップと発表公演を実施。千葉県市川市と神奈川県鎌倉市の市民文化団体とが連携して、国際交流を目的とし連続して開催。参加対象者は小学生から大人までの、障害を抱えた人々を含む三世代市民
17	「海から豚がやってきた！」	米国	海から豚がやってきた実行委員会	06.10.12～ 06.10.15	ミュージカル「海から豚がやってきた！」は、去る大戦で破滅的被害を受けた沖縄を救おうとハワイの沖縄移民が550頭の豚を軍用船で沖縄へ輸送した実話をもとに制作され、ハワイ、ロス公演を行ったが、本年世界の沖縄移民が参集する「世界のウチナーンチュ大会」にて海外の移民3、4世らを招聘して共演を実施

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
18	パラグアイのアルパのコンサート及び交流会	パラグアイ	ありあけ国際交流協会	06.11.14～ 06.11.30	パラグアイの民族楽器アルパ（小型ハープ）の代表的な演奏家で当該国外でも幅広く活躍しているマルティン・ポルティエリヨ氏を招へいし、地域でのコンサートを開催する中で、特に学齢期の子どもたちの国際感覚を育てる。また、同行通訳者を介して市民青少年との相互交流の機会を設ける事業
19	日独学生フェアトレード会議	ドイツ	社団法人 日本カール・デュイスベルグ協会	07.02.19～ 07.02.27	2007年2月に開催される「日独学生フェアトレード会議」においてドイツのフェアトレード機関・学生グループとの情報交換・意見交換を通じて、両国における学生のフェアトレード活動の可能性を探る事業
20	第4回 日伊文化交流祭「KONNICHIIWA 2006	イタリア	日伊文化センター ラ・クチーナディミツヨ	06.09.09～ 06.09.10	日本の伝統芸能・文化及び食文化をイタリアに紹介する事業
21	日英「いじめ問題ワークショップ」創造交流事業	英国	特定非営利活動法人ZUTTO	06.09.01～ 07.03.31	日本と英国で若者同士のピア・エドゥケーターを養成し、いじめ問題を考え解決するワークショップを開発。日英の若者が相互訪問してワークショップを実施し、主体的な問題解決能力と創造的な関係構築力の獲得を支援する事業
22	日英市民青少年協働事業『市民協働塾』	英国	特定非営利活動法人 地球市民の会	07.02.12～ 07.02.21	日本と英国に在住する市民・青少年を対象として、各種取り組みを行うNPO、企業、行政担当者等との円卓会議形式によるフォーラム（市民協働塾）を開催し、地域NPOの新たな役割を見据えた協働型の市民青少年交流プロジェクトの企画提案と実践及び交流による人材育成を目指す事業
23	国際ユースフォーラム青少年交流プログラム	全世界区分困難	財団法人 五井平和財団	06.11.18～ 06.11.26	高校生から30代を中心とする、日本を含む世界各国の若者たちがユースフォーラムの場を集結し、新しい意識と価値観のもと、地球規模で人類が直面する諸問題の解決に向けて意見交換を重ね、世界に向けた提言を実施。また、異文化交流を通じて相互理解を深めると共に「新しい文明を築く」ためのネットワーク形成を促進
24	ストリートダンスによる青少年国際交流事業	全世界区分困難	ストリートダンス全国大会実行委員会	07.03.23～ 07.03.26	日本と海外の市民レベルにおける交流を活発にするため、海外からストリートダンスに取り組む青少年を招聘し、日本全国から集まった青少年との交流、ワークショップなどを実施
25	市民協働による地域再生・環境再生 国際（日英アジア）フォーラム	全世界区分困難	特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島	06.09.01～ 07.03.31	市民・NPO・企業・行政のパートナーシップによるまちづくりを進める日英のNPO（グラウンドワーク）、韓国で環境保全活動を進めるNPO（韓国ナショナルトラスト）、アジア諸国で地域再生活動を展開するNPO等、NPOの国際的なネットワーク形成を推進するための国際交流事業（フォーラム開催等）を実施

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
26	国際ボランティア地球ネットワーク設立会議	全世界区分困難	特定非営利活動法人 NICE(日本国際ワークキャンプセンター)	06.10.17～ 06.10.23	世界各地で主に青少年が活動する国際ボランティアNGOの協力網を担うリーダー20名が集結し、ワークショップ、事業訪問、フォーラムを実施。市民参加と官民共同を進めながら、「地域協力網の地球協力網」を創設。開催後も行動と協力を発展させ、世界中の事業の改善・発展に画期的な成果を創出することを企図した事業
27	青少年のための「地球市民講座」	全世界区分困難	財団法人 横浜市国際交流協会	06.10.15～ 07.03.04	横浜市内の国際機関や大学と連携し、青少年を対象とした、地球的規模の課題（地球環境、食糧問題、飢餓、異文化理解等）を学ぶ講座を実施し、地域で活動する人材の育成をめざす事業
28	絵本で出会う世界～展示とミニレクチャー～	全世界区分困難	財団法人大阪国際交流センター	07.02.09～ 07.02.10	異文化理解を深めるうえで効果的な題材である外国語絵本を通して広く世界各国の文化を紹介する事業を開催。世界の絵本展示に加えて、国際理解のためのミニレクチャー、絵本の読み聞かせなど、参加型プログラムにより、楽しく知り、学ぶ異文化理解促進のための場を、将来の国際交流を担う児童・生徒を含む市民に提供
29	日本の伝統及び現代建築 訪日調査研究	フランス	建築専門学院	07.02.16～ 07.03.04	フランス有数の建築学校の学生と教授等が約2週間訪日し、日本の伝統及び現代建築を訪ねるとともに、日本の著名建築家と会い、日本の建築についての調査・研究を行う。帰国後、訪日時に撮影した写真やフィルム、デッサンによる一般向けの展示事業も実施

2. 催し等事業費 (4)市民青少年交流（助成）(AC)

日本とアジア諸国との市民・青少年の相互理解と友好親善を促進するため、同趣旨の文化交流事業を行なう団体に事業実施経費の一部を助成する。

合計額 30,942,561円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	第7回・第8回 日韓高校生交流キャンプ	韓国	社団法人 日韓経済協会	06.04.01～ 07.02.28	日韓の高校生各50名計100名を集め、日韓混成チームを作り、合宿形態で日韓それぞれでのビジネス企画を立てて発表する「キャンプ」をソウルと東京で各1回実施。共同作業を通じて密度の濃い交流を促進
2	第21回 日韓学生会議 東京－京都大会	韓国	第21回 日韓学生会議 東京－京都大会 実行委員会	06.08.03～ 06.08.17	日韓両国の学生各21名が7名の学生ボランティア通訳とともに、学術討論を中心に9つの分科会とシンポジウム、講演会を実施。相互理解を深め、生涯にわたる信頼関係を築くことを目的とする。今大会は京都で開催し、伝統芸能職人訪問等も実施

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
3	第9回日韓環境ギャザリング	韓国	日韓環境ギャザリング実行委員会	06.08.07～ 06.08.15	8月に日韓両国の学生・青年計40名が、工場見学・農場見学等、東京近郊で環境問題に関するフィールドワークを実施。両国の更なる友好関係を築き、問題の解決に向け交流を深めるため、環境問題や歴史問題に関するディスカッション等も実施
4	南北 코리아 と日本のともだち展	韓国	南北 코리아 と日本のともだち展実行委員会	06.05.16～ 06.12.31	日本（在日コリアンを含む）、韓国、北朝鮮の子供達が描いた絵約170点と写真パネルの展示会を渋谷、平壤、ソウルでそれぞれ実施。日本（在日コリアンを含む）、韓国の子供達の参加するワークショップも併せて開催し、北朝鮮の子供達のビデオ等も紹介
5	日韓海峡圏学生サミット2006	韓国	日韓海峡圏学生サミット実行委員会	06.07.01～ 06.10.29	日韓の大学生が福岡、釜山を訪問し、互いの文化を学び、日韓の問題について討議。韓国群山市でオーラル・ヒストリー共同調査を行う。日韓海峡圏共同体構築を目指し「日韓海峡圏学生サミット共同宣言書2006」を作成
6	21世紀の日韓子ども通信使派遣事業	韓国	21世紀の日韓子ども通信使実行委員会	06.08.05～ 06.08.12	日韓双方で小中学生各50名、引率者として教育関係者計10名を募集し、マスコミ関係者等10名を併せて、朝鮮通信史ゆかりの地を各4日間、計8日間相互訪問。現地での文化交流と併せて韓国双方の先端・産業等を視察・体験し、朝鮮通信使が残した「誠信の交わり」の思想を両国の未来を担う子どもたちに根づかせることを目的
7	野外伝承遊び 日中会議・日中大会	中国	社団法人 青少年交友協会	06.07.28～ 06.08.04	日本より講師を派遣し、日中の学者・専門家約13名による「野外伝承遊び 日中会議」を北京にて開催。同時に、日中両国の子ども達約20～30名が共に「野外伝承遊び 日中大会」に参加
8	学生のための国際ビジネスコンテスト OVAL Tokyo 2006	韓国 中国	学生のための国際ビジネスコンテスト OVAL Tokyo 2006	06.08.01～ 06.08.09	日本、中国、韓国の大学生それぞれ一人ずつで構成された3人1チームで、ケースメソッドを採用した問題に沿って英語でビジネスプランを作成し、社会人からコンサルティング、審査を受けるという国際ビジネスコンテストを開催。日中韓の大学生約100名が参加
9	JAPAN TRIP 2006	中国	日中交流団体 freebird	06.07.01～ 06.07.02	助成対象団体は、関東、関西、上海の3都市に支部を持ち、日中関係に興味を持つ学生で構成される。8月1日から約1ヶ月、中国から約20名の学生を招聘し、ホームステイをしながら企業訪問、合宿形式の勉強会、討論会、名所旧跡見学を関東と関西の2ヶ所で行う。日本側参加者は約220名
10	「日中国會議員書画展」	中国	NPO法人 日中協力中心	06.04.01～ 07.03.31	日中両国の国会議員の作品を展示し、両国民が鑑賞。4月の4日間は中国北京の人民大会堂で展示。9月には東京・日中友好会館で展示。約40名の日本の国会議員が中国での交流イベントに参加



	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
11	2006 ユネスコ東アジア子ども芸術祭inモンゴル	モンゴル	社団法人 日本ユネスコ協会連盟	06.07.27～ 06.07.29	東アジア5カ国1地域（韓国、中国、北朝鮮、マカオ＝準加盟、モンゴル、日本）の子ども達による舞踏・音楽・伝統芸能等の舞台芸術祭。7月の3日間約30名の日本代表がモンゴル入りし、その内全国各地のユネスコ協会を通じて公募した20数名の日本代表の子ども達が舞踊を披露
12	カンボジアにおける音楽教育支援事業	カンボジア	鯖江市国際交流協会	06.07.24～ 06.07.29	鯖江市内の中学生・教員及び鯖江市国際交流協会会員15名が、教育支援を行っているプノンペン市内の学校に赴き、鯖江市内の小・中学校生徒から集めた楽器を寄贈し、楽器演奏を通じ教員との意見交換、生徒交流などの文化交流と音楽教育を行うとともに、今後のカンボジアの教育支援の進め方を研究
13	タイ・日本青少年交流事業	タイ	特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか	06.04.01～ 07.03.31	日本の教師・中学生・高校生15名をタイへ派遣し、タイの学校の授業・行事に参加し、タイの青少年との交流を深め、国際理解を促進するとともにタイの教師・中学生・高校生12名を日本に招聘し学校の授業・行事に参加させ、国際交流を実施。また、地域でフォーラムを開催することにより、一般市民の日-タイ両国の相互理解を促進
14	サッカーを通じた日越市民青少年交流	ベトナム	日越青少年サッカー交流団	06.08.21～ 06.08.24	日越の青少年が、日越文化の相互理解を拡大し、市民青少年間における日越交流の礎を築くため、日越の青少年の言葉を越えた文化交流として、サッカーの合同練習会や交流試合を実施。また、今後の日越文化交流の主役に育てるため、日本の青少年がベトナムの衣食住を学ぶ事業を実施
15	よさこい踊り～Japan Festival 2006 in Vietnam	ベトナム	よさこいダンスチーム「バンブーレボリューション」	06.08.20～ 06.08.24	中学生から大学生までを中心とした青少年のよさこいチームが、Japan Festival 2006 in Vietnamに参加。ベトナムの方々によさこい踊りを紹介し、共に踊ってもらうことで、日越の青少年の文化、価値観を相互に理解し、互いの文化を共有する支援を行い、日越文化交流を促進
16	アジアみらいフォーラム2007イン ジャパン	カンボジア タイ	特定非営利活動法人 アジアみらいネットワーク	07.03.08～ 07.03.21	タイ、カンボジア、中国から23名の青年・学生を招聘。東京、京都、広島で国際会議、ワークショップ等を開催するとともに最先端企業や学校の視察を実施することで、国際理解を深め諸問題を共有しアジアの連帯友好、国際感覚溢れる若きリーダーを育成
17	アジア市民青少年交流活動『アジア自然学校』ミャンマープログラム	ミャンマー	特定非営利活動法人 コミネット協会	06.06.01～ 07.03.31	日本の10代の子供たちをミャンマーに派遣し、環境教育・森林教育ワークショップを実施することにより、より豊かな国際感覚を、環境という視点を取り込みながら醸成し、次世代を担う感性豊かな人材を育成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
18	日本・ヴェトナム草の根文化交流	ベトナム	特定非営利活動法人 歴史文化交流フォーラム	07.02.24～ 07.03.05	講師25名を派遣し、メコンデルタの中心都市カントー市で日本文化週間（日本の文化、歴史、経済、農業などをテーマとした講演会、書、生け花、着物の着付け、蕎麦打ち、折り紙などを展示・指導）を実施。また、ホーチミン大学日本語学科学生との交流会を実施
19	ジャパンフェス2006 inベトナム	ベトナム	アイセック一橋大学委員会ベトナムプロジェクト	06.08.20～ 06.08.27	日越の将来を担う学生の市民レベルでの交流の促進を目的として、多くの一般参加者を招いた運動会、文化紹介、日越の学生同士のシンポジウム、ディスカッションなどの事業を開催
20	絵本振興のための日本・スリランカ文化交流事業	スリランカ	スリランカの教育を支援する会	06.05.16～ 06.05.24	会員と講師7名が現地パートナーとともに、コロomboとゴールで7日間の絵本に関する総合的ワークショップを開催。教育関係者、市民、絵本作家志望者、出版・図書館人等を対象とし、日本の絵本とその根底にある子ども認識、普及のための図書館、おはなし会活動を紹介し、絵本の振興と発展のために意見交換を実施
21	青少年国際交流・協力スタディーツアー	タイ バングラデシュ	財団法人 広島平和文化センター	06.07.29～ 06.08.06	青少年23名をタイ、バングラデシュに派遣し、青少年が開発途上国の現状について学び、現地の人々と交流を行い、日本のNGOによる国際協力活動の実績について学ぶ機会を提供することにより、青少年の国際交流・国際協力に対する意識を醸成し、次世代の国際協力の担い手を養成
22	スリランカに届け！空飛ぶ車いす－日韓共同作戦	スリランカ 韓国	大森学園高校「空飛ぶ車いす」ボランティア部	06.06.01～ 07.01.30	日韓の高校生が共同で、要請のあった津波被災地スリランカに車いすを寄贈する事業。日本の高校生10名が、修理講習、スリランカ訪問の事前打合わせのため、8月に韓国を訪問。10月に日本の高校生20名が韓国の高中生と合流しスリランカを訪問し、2005年に贈った239台の車椅子のメンテナンスと修理講習を実施し、その技術を現地関係者に伝授
23	デ・ラサール大学訪日研修	フィリピン	デ・ラサール大学	06.08.26～ 06.09.02	デ・ラサール大学の日本研究プログラムで学ぶ学生11名と指導教官が訪日し、同大学と交流協定を持つ国士舘大学において日本の社会、文化に関する講座の受講、日本の大学生との交流、文化施設訪問等を実施
24	イスラム女性リーダー訪日研修	フィリピン	ピース・ウーマン・パートナー	06.08.02～ 06.08.14	フィリピン南部ミンダナオ地域のイスラム女性リーダーが日本を訪問し、広島、長崎、福岡において平和団体、NGOとの対話・意見交換を行い、平和構築や女性の社会的地位の向上といった分野での今後の交流を促進。フィリピン帰国後は、訪日報告会を実施

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
25	日中韓共同映画製作への相互理解促進事業	韓国 中国	NPO法人 横浜アートプロジェクト	06.09.01～ 07.01.31	日中韓三国共同による横浜開港150周年記念映画製作の準備段階として、市場形成や若手の映像制作振興に効果的につながるよう、相互理解を目的としたデモンストレーション、ワークショップ、レクチャー、シンポジウムを開催。実際のショートフィルム製作、ストーリーミング配信も実施
26	歴史と環境を学ぶ日韓青年フィールドワーク	韓国	在日コリアン青年連合東京（略称：KEY東京）	07.03.01～ 07.03.04	在日コリアン青年が韓国の青年20名を日本に招き、日本の青年とともに、現在日韓間で顕在化している歴史問題と、今その価値が注目されている自然と共生した生活様式の実践という異なる二つの分野について、共同の体験学習＝フィールドワークを実施
27	文化の源・里山での交流	韓国	特定非営利活動法人 赤目の里山を育てる会	06.08.28～ 06.09.18	日韓の学生が互いの国の里山を訪れ、伝統文化体験、里山保全活動を通じ、相互の文化への理解を深めることを目的とした事業。第14回全国雑木林会議において、両国の学生がともに交流事業を報告
28	日中高校生社会貢献交流事業	中国	財団法人 日本青少年研究所	07.03.20～ 07.03.27	ボランティア活動やクラブ活動で活躍している高校生を奨励する「いきいき活動奨励賞」の最優秀賞の8名が、日本の高校生の代表者として中国を訪問。中国の高校や「中国高校生日本語作文コンクール表彰式」でその活動を発表し、中国の高校生と交流を実施
29	日中の就労を通して将来社会を創造する学生交流ワークショップ事業	中国	特定非営利活動法人 日中環境経済センター	07.02.22～ 07.03.02	日本と中国の大学生男女各4名2グループ、計16名の研究生が、中国浙江省杭州市における将来の社会像づくりのための雇用調査及びグループ研究事業に参加。12日間の合宿形式をとる。併せて、事業成果の発表フォーラムを開催
30	安徽省日中友好の森づくり学生派遣事業	中国	安徽省日中友好の森づくりネットワーク	07.03.20～ 07.03.25	「安徽省日中友好の森づくり事業」として、高知県内で募ったボランティアが中国安徽省で植樹・交流事業を行っている。森林・緑化分野の国際交流を促進するため、若者、特に次世代を担う学生の参加が必須であることから、旅費を一部助成し、若者の参加を促進
31	プレイバックシアター インカンボジア	カンボジア	オーシャンズプロジェクト	07.02.03～ 07.02.12	プレイバックシアターという即興劇によって、カンボジア友好学園の生徒と、助成対象団体が募集する日本側参加者が、授業及びワークショップを行い、プレイバックシアターの指導者を養成
32	マレーシア”文化の保存”共同実習ワークショップ	マレーシア	非営利法人 アートコンサベーションラボラトリー	07.01.20～ 07.02.05	マレーシアは3年後の建国50周年に向け国立美術館収蔵品ほか文化財の修復整備を実施中。本件は日本の専門学者による文化財保存修復の教授事業に併せ、各地の専攻大学生15名が現地の若手担当官、受講者と共に共同実習・意見交換を行うとともにテキスト・文化保存辞書を作成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
33	創造都市交流 2006	シンガポール 英国	特定非営利活動 法人 アート NPOリンク	06.09.01～ 07.03.31	アートNPO、自治体などセクターを越えた交流プロジェクト。日本での創造都市の実現に向け、実践的な交流を実施。第1段階として、シンガポール及び英国の「創造都市」を訪れ、民間非営利組織、アーツカウンシル等と意見・情報交換。第2段階は、交流先のアート関係者を招へいし、ワークショップやシンポジウムを横浜で開催
34	マレーシアと日本・中学生日本語でフォーラム・充実した中学時代を	マレーシア	特定非営利活動 法人 メイあさ かセンター	06.11.02～ 06.11.09	マレーシアレジデンシャルスクールで第3外国語として日本語を学習している生徒を日本に招へいし、19年間にもわたるマレーシアとの児童生徒の絵画交流を通じてマレーシアへの関心が高い朝霞市の児童生徒とマレーシアの同年齢の生徒とが触れ合う国際理解教育事業
35	フィリピンで日本を発見しよう	フィリピン	特定非営利活動 法人 ギブ	06.09.06～ 06.09.17	フィリピンにある農業学校の生徒たちが、フィリピン・日本友好50周年を機に、母校の設立を支援した日本の若者と、ワークショップ、ワークセッションを通して、互いの文化を紹介し、交流を図る事業
36	ネパール YOUTH交流スタ ディーツアー	ネパール	特定非営利活動 法人 地球の木	07.02.11～ 07.02.18	若者の活発な地域活動によって理想的な村づくりを目指すネパールの様々なユースクラブと日本の大学生との交流を行い、ワークショップ、学生シンポジウム、学校訪問、ホームステイを通して、地域を変える力を学び、互いの文化や社会についての意見交換を実施
37	第10期 日本インド学生会議 本会議	インド	第10期 日本インド学生会議	06.09.01～ 06.09.19	日本とインド両国の学生を主体とする国際交流プロジェクト。日印両国の学生の交流の場である本会議を日本側実施団体として創り上げるため、毎週一回のミーティングや、電話、メールを活用して、会議の理念を築き、企画を組み立て、会議を実施
38	九州国立博物館 タイフェア	タイ	財団法人福岡県 国際交流セン ター	06.09.08～ 06.09.14	福岡県におけるタイ（首都バンコク）との姉妹都県締結に伴い、九州国立博物館において9月8日～14日にかけてタイの文化に関するイベントを行う。この一環で、「タイの伝統文化と魅力」について、タイの舞踊家の説明も交えた講演会を実施
39	スポーツを通じた日本・ラオス間の障害者交流促進事業	ラオス	アジアの障害者 活動を支援する 会	07.01.07～ 07.01.17	日本の車椅子バスケットボールチーム、ラオスのチーム及び他の近隣アジア諸国のチームとの親善試合を日本政府が援助してオープンする障害者用体育館にて行うとともに、ラオス社会の障害者自立の啓発と日本・ラオスの障害者相互の交流を目的とした障害者スポーツ振興セミナーもあわせて実施。また、ラオス政府、関係団体と意見交換



	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
40	平成18年度 「地球市民講座」 (福岡)	アジア地域区分 困難	財団法人福岡国 際交流協会	07.02.14～ 07.03.07	本講座は、市民を対象に世界の国・地域の現状や地球上で起こっている様々な問題等への理解をより深めるため、専門家を招きシリーズで開催するもので、昭和63年度から毎年、アジアを中心にしたテーマで実施。今年度は、「大国化する中国の光と影～激動する巨大国家の実像～」をテーマに4回シリーズで開催
41	日韓環境教育セ ンターネット ワーク構築事業	韓国	韓国環境教育 ネットワーク	07.03.11～ 07.03.17	青少年の環境教育に携わり、環境分野での日韓青少年交流に関心のある専門家が訪日し、日本の環境教育機関を訪問、意見交換を行い、環境教育センターの運営及び管理方法や、教育プログラムの開発・発展を図る事業
42	ジョグジャカル タ インドネシ ア国立芸術大学 生 音楽研修・ 交流	インドネシア	インドネシア国 立芸術大学	07.01.08～ 07.01.19	今年5月の大地震後、引き続き復興作業が続くジョグジャカルタにある、インドネシアを代表する国立芸術大学の音楽専攻の学生と講師が2週間訪日し、専門分野をより深く学ぶとともに、日本の音楽家、教育者にインドネシアの音楽教育の現状について情報を提供しつつ、相互理解と交流を深める事業
43	日本自然歩道現 場探訪	韓国	白頭大幹保全市 民連帯	07.02.21～ 07.03.02	韓国の半島を東西に大きく分ける山脈である白頭大幹は、多くの登山客の縦走により生態系の毀損が深刻化している。日本では70年代から自然と歴史文化を探訪する自然歩道の整備が進められており、こうした日本の現場を視察し、関係者と意見交換し、白頭大幹の保全に役立つ事業
44	ケアと学びのあ る学習空間探訪	韓国	青少年代案空間 ドゥウム(ウン ピョンシアッ学 校)	07.01.15～ 07.01.21	ソウル市の代案学校(オルタナティブ・スクール)では、2005年から都市型代案学校の教育の質の向上のため、一つのモデルとして日本の「学びの共同体」を学習しており、本事業ではそうした学校の教師が日本において「学びの共同体」の事例を視察し、関係者との意見交換を行う事業
45	日本のグリー ン・ツーリズム の現場を見つけ て～地域固有の 環境・文化を生 かした街づくり 団体及びプログ ラムへの体験	韓国	希望製作所	07.02.04～ 07.02.15	韓国の地域、特に農村地域の再生のための代案政策(オルタナティブな政策)を研究・提案している助成対象団体が、韓国よりもこうした取り組みが進んでいる日本のグリーン・ツーリズムを行う団体を訪問し、各種事業を見聞。その内容を研究・分析し、成果をとりまとめ、韓国で出版物を刊行するとともに、インターネットでも発信を行う事業

## 市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
46	日本の住民組織の研究	タイ	チェンマイ大学 人文学部日本語 学科	07.03.11～ 07.03.25	タイ北部で中核的な教育・研究機関であるチェンマイ大学の日本研究専攻の学生と指導教授が訪日し、町並みの保存など、日本の住民組織の様々な役割や、政府関連セクターとの協働のあり方などについて、調査を行う。調査結果については、帰国後、報告の場を設けるとともに、人文学部の機関誌に記事を掲載

### 2. 催し等事業費 (5)市民青少年交流（助成）（中東）

日本と中東の市民・青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 5,000,000円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	日本・チュニジア中学生・高校生による両国の歴史文化に関する交流	チュニジア	社団法人 まちづくり国際交流センター	07.03.24～ 07.03.29	奈良県橿原市在住の中・高生が、チュニジアを訪問し、同国の中・高生と両国の歴史文化の起源について意見交換を実施
2	イスラエル漫画展及び討論会	イスラエル	世界漫画家連盟 日本支部	06.10.16～ 06.10.24	イスラエルの姿と、外から見た日本の姿を広く市民に提示する目的で、イスラエルと日本の漫画家による合同漫画展を開催。同時にイスラエル等から招いた3名の漫画家と市民との討論会を実施
3	日本とトルコで東西文化芸術子ども本物体験	トルコ	子どもの美術教育をサポートする会	06.11.06～ 06.12.07	前年からイスタンブールの小学校にて実施している子どもたちへの文化芸術体験活動への支援を、専門機関とより一層連携することによって、さらに両国の文化芸術の特色を生かした子どもの文化芸術体験交流事業を実施
4	第四回日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議	イスラエル パレスチナ	日本・イスラエル・パレスチナ学生会議	06.08.10～ 06.08.28	現地では直接的な交流の難しいイスラエルとパレスチナの学生を日本に招へいし、両国の間に対話の機会を創出。また、日本社会にイスラエル人、パレスチナ人の「生の声」を伝えることで日本社会の両地域への関心を喚起する事業
5	日本・ヨルダン青年対話	ヨルダン	日本・中東学生会議	06.08.12～ 06.08.22	ヨルダンでの日本・ヨルダン間の青年の対話を目的とした事業を実施。また、ヨルダン人青年を日本に招へいし、日本の中東理解を促進

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
6	パレスチナと日本、青少年が未来を語る	パレスチナ	特定非営利活動法人パレスチナ子どものキャンペーン	06.11.20～ 07.03.24	「共生の未来」を目指して、双方の青少年、専門家、市民が協力を考えるため、意見交換や共通して抱える問題点を討議する。具体的には、パレスチナの青少年とNGO関係者を日本に招き、日本の高校生や市民、専門家と会議や交流を行い、その成果を報告書にまとめ、次年度以降の継続した事業を計画
7	2006年度 日本・アラブ学生相互訪問交流プログラム	イエメン シリア レバノン	慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス (SFC) 奥田敦研究会	06.11.06～ 07.03.15	互いの言語を学びあう日本とアラブの学生が相互訪問し、語学教材テキストとそのビデオスキットの共同制作や文化交流活動など、実践的なビジョン共有の体験を通じて、長期的な視野から日本とアラブ世界の平和友好関係の次代を担う人材を育成

2. 催し等事業費 (6) 異文化理解ワークショップ (中東)

中東諸国の歴史・文化・国際関係などに関する理解を促進するため、中東諸国の知識人や日本人専門家を講師に迎えた講演会、ワークショップ、連続講座や、展示会を開催する。

合計額 7,818,764円

	事業名	対象国	都市	期間	事業内容
1	中東理解講座	中東地域区分困難	東京	06.04.01～ 07.03.31	中東地域の社会・文化事情やその歴史的背景などへのより深い関心と正確な理解を促進するため、東京にて一般市民を対象とした連続講座を実施。今年度は、第2期に「エジプトはナイルの賜物：歴史の多層性と地域の多様性」と「グローバル化するイスラーム(2)」、第3期に「イスラームの都市文化」と「中東における民主化の諸相」の計4講座を実施
2	中東・イスラーム理解セミナー	イラン トルコ	横浜 和歌山	07.02.11～ 07.03.17	日本における中東理解促進を目的として、中東の在京大使と日本人の中東専門家の講演を外務省と共催。今年度は、和歌山県、和歌山県国際交流協会との共催でトルコについての講演を、横浜市国際交流協会と共催でイランについての講演を実施。

市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費 (7) 異文化理解ワークショップ (AC)

アジア諸国の歴史・文化・国際関係などに関する理解を促進するため、アジア諸国の知識人や日本人専門家を講師に迎え、講演会、ワークショップ、連続講座や、展示会を開催する。

合計額 22,933,145円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	第9回アジア漫画展	韓国	ソウル	ソウル日本文化センター	06.05.19～ 06.06.08	アジア8カ国で活躍中の風刺漫画家8名が風刺とユーモアで描いた「第9回アジア漫画展－アジアのIT事情（平成16年度制作）」（作品80点）を、韓国などアジア4カ国に巡回
			バンコク	バンコク日本文化センター	06.07.07～ 06.07.25	
		タイ	チェンライ	チェンライ・ラーチャパット大学	06.08.02～ 07.08.20	
			フィリピン	マニラ	シャングリラ・プラザ・モール	
		中国	北京	国家図書館	06.10.25～ 06.11.02	
			合肥	安徽省博物館	06.11.09～ 06.11.16	
2	第10回アジア漫画展	日本	知立市	知立市中央公民館	06.07.08～ 06.07.16	アジア10カ国で活躍中の風刺漫画家8名が風刺とユーモアで描いた「第10回アジア漫画展－アジアの環境問題（平成17年度制作）」（作品77点）を、マレーシアなどアジア3カ国に巡回
			マレーシア	コタ・キナバル	コタ・キナバル・ウイスマ・ブダヤ	
		イポー		イポー州立図書館	06.10.10～ 06.11.07	
		クアラルンプール		クアラルンプール国立図書館	06.11.15～ 06.12.17	
		インドネシア	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	07.01.13～ 07.01.29	
			ジョクジャカルタ	ジョクジャカルタ・ルマ・チュムティ	07.02.10～ 07.02.26	

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
3	第11回アジア漫画展	日本	23区 日立市 千曲市 千曲市 高梁市 徳島市 さいたま市 小平市 大阪市	0 美術館 日立シビックセンター 千曲市ふるさと漫画館 千曲市上山田文化会館ホワイエギャラリー 吉備川上ふれあい漫画美術館 徳島県立21世紀館多目的活動室 さいたま市立大宮図書館展示ホール 小平市文化会館ルネこだいら展示室 大阪国際交流センターギャラリー	06.12.09～06.12.15 06.11.21～06.11.26 06.12.09～06.12.15 06.12.17～06.12.24 07.01.06～07.01.14 07.01.25～07.02.04 07.02.20～07.03.03 07.03.14～07.03.18 07.03.29～07.04.04	アジア10カ国で活躍中の風刺漫画家10名が風刺とユーモアで描いた「第11回アジア漫画展－アジアの若者文化」(作品77点)を、国内7都市で展示するとともに中国などから4名の出品漫画家を招へいして「アジアの若者文化」について討論会を実施
4	アジア理解講座	アジア地域区分困難	東京	国際交流基金 国際会議場	06.04.01～07.03.31	アジア地域の社会・文化事情やその歴史的背景などへのより深い関心と正確な理解を促進するため、東京にて一般市民を対象とした連続講座を実施。今年度は、第1期に「感染症をめぐる問題群」と「変貌するインド－成長を続ける経済とそれに伴う政治・社会の変化」、第2期に「アジアの環境問題」と「中国の外交」の計4講座を実施
5	スリランカ平和構築シンポジウム	スリランカ	東京	国際交流基金 国際会議場	06.07.15	日本におけるスリランカの社会・文化事情についてのより深い関心と正確な理解を促し、当該地域の社会・文化等に関する基本的な知識・情報を体系的に提供することを目的に、一橋大学と共催で「スリランカ平和構築の現在と展望」シンポジウムを開催

## 市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費	(8) 異文化理解ワークショップ
-----------	------------------

日本におけるよ異文化理解促進のため、公開講座や巡回展を実施する。

合計額 4,947,687円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	中南米理解講座	米州地域区分 困難	東京	国際交流基金 国際会議場	06.04.01～ 07.03.31	中南米地域の社会・文化事情やその歴史的背景などへのより深い関心と正確な理解を促進するため、東京にて一般市民を対象とした連続講座を実施。今年度は、第1期に「中南米の音楽－民衆のうた・大地のひびき・雑踏のリズム」と「サッカーの国ブラジルをもっと知ろう」、第3期に「現代中米・カリブ情勢の読み方」と「ラテンアメリカ文学は何を語ってきたか？」の計4講座を実施